



冬の寒さも和らぎ春に近づいてきました。流行していたインフルエンザも、今年は例年より少ない罹患者数で落ち着いています。しかし、先月末より溶連菌感染症に罹患した園児が数名出ていました。高熱、喉の痛み、全身の湿疹、イチゴ舌など溶連菌感染症を疑う症状がある場合には、病院受診をして頂けるようご協力をお願い致します。今年度も残り1か月、お子さんご家族の皆さんも、元気いっぱい過ごせると良いですね。



## 耳の日



「3」は耳の形に似ていることなどから3月3日は耳の日とされています。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子さまの様子をよく観察しましょう。

大切な耳を守るために気を付けたいこと！

- ・鼻をすすらず、かむ習慣を付ける
- ・鼻水は、ゆっくりと片方ずつかむ
- ・耳の近くで大きな声や音を出さない
- ・耳をたたかない
- ・耳掃除は綿棒で外耳道を拭き取る程度に行う



### \*こんなときは小児科？耳鼻科？\*

微熱や鼻水等のちょっとした風邪をひいた時、どちらを受診するか迷う事があると思います。咳がひどい時や明らかな発熱があれば小児科ですが、耳鼻科は首から上が専門分野です。咳はあまりないが鼻水がでる、のどが痛い、耳が痛い等、咽頭炎、扁桃腺炎、中耳炎等が考えられるときは耳鼻科の方が確かな診断が受けられると思います。どちらか一方の病院を受診してもなかなか良くならない場合は、一度専門の病院を受診することをお勧めします。

### \*かかり付けの耳鼻科はありますか？\*

耳鼻科では、鼻炎のほか、普段よく見えない耳の中、耳垢の状況などを見てもらうことができます。(親が耳垢を取ろうとして、耳の中を傷つけたり、耳垢を詰まらせてしまうことがあるそうです)

子どもは耳の病気にかかりやすいので軽い風邪症状の際、耳の健康診断をうけるような気持ちで耳鼻科を受診するのもよいかもしれませんね。

## 歯磨き指導と仕上げ磨きについて

先月末、くま組さんで虫歯についての紙芝居と、歯の模型を使用して歯磨きのポイントの話をしました。虫歯を予防できる歯の磨き方が身に付いてくれたらいいなと願っています。今月はうさぎ組さんときつね組さんも行う予定です。仕上げ磨きはいつまで？と悩むことはありませんか。小学生になると、低学年から中学年の間に大人の歯に入れ替わります。生え変わりの最中の歯並びはデコボコで、歯垢が残りやすく、子どもだけでは歯の汚れを十分に落とすできません。幼児期のように全体を仕上げ磨きする必要はありませんが、子どもが磨いた後に不足しているところは保護者の方の仕上げ磨きが大切です。目安は9歳頃まで、それ以降も、虫歯には個人差があるので、必要に応じて確認と点検は続けてあげられると良いですね。



### \*お知らせ\*

※くま組さんはMR(麻疹風疹混合)ワクチンⅡ期の接種はお済みですか？3月までに接種をしないと有料になってしまいますので、お早めに接種することをお勧めします。